

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：伊勢佐木町保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：斎藤ひとみ	定員（利用人数）：24名（23名）
所在地：〒231-0058 横浜市中区弥生町4-39-2	
TEL：045-251-2053	ホームページ： https://isezakichou-hoikuen.com
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2016年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人 白百合の会	
職員数	常勤職員：8名 非常勤職員：14名
専門職員	保育士 17名 管理栄養士 1名 調理員 3名 子育て支援員 1名
施設・設備の概要	(居室数) (設備等)
	0～2歳児室 3室 沐浴室 1室 調理室 1室 トイレ 3室 事務室 1室 職員休憩室 1室
	鉄筋コンクリート造り (9階建ての1階) 建物延床面積：142㎡ 園庭 : 429㎡

③ 理念・基本方針

【保育理念】これからの社会を担う子どもの健やかな育ちを求め、一人ひとりの子どもの心と伸びようとする力を大切にした保育を目指します。

【基本方針】

1. 一人ひとりが健康で明るく毎日が過ごせるよう、心を大切にする保育。子ども同志のかかわりと経験を通して互いに成長し合う場の提供。
 2. 家庭と園の連携
 3. 職員の資質向上、質の高い保育、人権の尊重、プライバシーの保護
- 保護者が安心して子育てと仕事ができるよう連携、地域への積極的子育て情報発信（子育て相談等）、地域の子育て支援

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

伊勢佐木町保育園は特定非営利活動法人「白百合の会」が運営する乳児（0～2歳児）を対象とする保育所で、現在23名（定員24名）が在籍しています。横浜営地下鉄阪東橋駅から徒歩5分の所に立地しています。園舎は鉄筋造りの9階建ての1階で、道路に面して園庭があります。近隣に公園が多くあり、天気の良い日は毎日散歩

に出かけ、健康で丈夫な心と体づくりに取り組んでいます。

【園の特徴】

子どもが自分のやりたいことを自分で決められるように、保育室にままごと・絵本等の様々なコーナーを設定し、年齢に合った玩具を用意して、一人ひとりが興味関心に合わせた遊びを楽しんでいます。園児たちは散歩の他に、近くの商店街に食育の一環として買い出しに行くこともあり、また、商店街主催のハロウィンパレードや酉の市等に参加する等、地域交流を深めています。

職員はていねいに、分かりやすい言葉で子ども一人ひとりに寄り添い、子どもの自分でやろうとする気持ちを尊重し、見守っています。在籍期間の長い職員が多く、保護者は育児関係だけでなく家庭環境を含めて多岐にわたる相談をし、保護者と園児に寄り添った保育をしています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年5月16日（契約日） ～ 2024年3月25日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（2018年度）

⑥ 総評

◇特長

1. 一人ひとりの子どもを受容する保育

子ども一人ひとりの発達や家庭環境を全職員が把握しており、状況に応じて遊ぶ環境（玩具、絵本、公園での遊び等）や声かけを工夫しています。子どもたちは安心して遊びに没頭し、自分の思いを職員に伝えています。保育士によって見方や価値観が違うので、子どもの思いや行動をどう理解し受容するかなどについて職員同士で毎日話し合っています。

2. 子どもの発達状況のチェックと指導計画への反映

子ども一人ひとりについて、月間指導計画の発達の項目（ねらい、内容）ごとに丁寧に経過を観察記録し、きめ細かく評価と反省をし、保育ICTシステムを活用して次月の指導計画の詳細を作成しています。その結果、その子どもの発達過程を考慮した保育環境を整備し、充実した保育を実施することが可能になっています。

3. 多岐にわたる職員研修

乳児保育と子どもの人権、乳幼児期の養育者との関係性が青年期に与える影響、衛生管理、コミュニケーション、障がい児保育、マネジメント等、多岐の項目について外部講師を招いたり外部研修に参加、或いはオンデマンド方式、eラーニングで全職員が学んでいます。さらに、職員育成のベースになる保育士育成ビジョンに関して、経験年数に応じた保育力、安全等について目標と研修内容を総見直しし、次年度以降への育成計画に反映する予定にしています。

◇今後期待される点

1. 事業計画、園の改善課題に関する実施状況を把握し見直す方式の工夫

事業計画、園の自己評価結果の改善課題の各項目について、担当者、達成時期、実施状況・結果、評価反省について定期的に確認・記録し、また定期的に計画内容を見直すことが期待されます。

2. 保育所の持つ専門性の地域への還元

絵本の貸し出し、遊びに関する保育士派遣事業、調理員による離乳食講座等、園の持つ専門性を生かしたサービスを地域に提供することが期待されます。その結果、地域に根ざした保育所として、地域子育て支援を果たすことができます。

3. マニュアルへの守秘義務明記

実習生受け入れマニュアル、ボランティア受け入れマニュアルに、受け入れの意義と守秘義務内容を明記することが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回5年ぶりに第三者評価を受けるにあたり、職員全員で自己評価をし、一つずつの項目に沿って話し合いを行いました。話し合いを何回も行いました。その過程で、日々の保育について客観的に振り返ること、保育に関する共通意識を深めることができました。そして「よりよい保育とは何か」「子ども主体の保育とは何か」をともに考え、課題を洗い出し、実際に保育へ生かすことができるよい機会となりました。

評価機関の方々には、当園の保育を細部まで客観的に評価していただき感謝しております。その中で、普段から考え工夫している保育に対していただいたお褒めのお言葉は、保育を行う上で大変励みになるとともに、今後も保育の質の向上を常に考える原動力となりました。今後、人材育成計画により保育士の保育の向上を常に考える原動力となりました。

そして課題としていただいた点に関しましては、真摯に受け止め、事業計画、園の自己評価結果の改善課題の各項目について、担当者と定期的に確認・記録し、計画内容を見直していきたいと思っております。また、園の持つ専門性を生かし、地域に根差した保育所として、子育て支援を行っていききたいと思っております。

なお、今回受審し残念に思ったことが1点ございます。当園は、認可乳児保育所であり、「小学校との連携」や「3歳以上児の保育という項目に関しては該当園児が在籍しておりません。それにも関わらず、この項目に対する評価が「非該当」ではなく「C」となったことを残念に思っています。

最後になりましたが、お忙しい中アンケート等にご協力をいただきました保護者の皆様、本当にありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり